

RHICでの高エネルギー重イオン物理 High Energy Heavy Ion Physics at RHIC

秋葉 康之氏 (理化学研究所 延與放射線研究室)
Dr. Yasuyuki Akiba (Radiation Laboratory, RIKEN)

RHICでの高エネルギー重イオン衝突実験のこれまでの実験成果、特に「高横運動量粒子生成の抑制 (Jet quenching)」と「強い楕円型Flow」の発見により、RHICの金原子核衝突反応ではクォークやグルーオンからなる高密度物質が生成されていることが確立した。この物質は、ほとんど粘性のない高密度流体のように振舞い、「強結合クォーク・グルーオン・プラズマstrongly coupled QGP」とも呼ばれる。RHICでの研究はこの高密度物質の性質の解明に向かっている。RHICでのこれまでの実験成果をまとめるとともに、最新の結果と今後の方向について講演する。

Mar. 19 (Mon), 2007 13:30-
RIBF 2F Conf Hall, RIKEN

The Colloquium will be given in Japanese

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer
npsoc@ribf.riken.jp
<http://ribf.riken.jp/~seminar/>